熊谷市消防本部の沿革

昭和２３年　３月	消防組織法の施行により熊谷市消防本部、消防署を設置 熊谷市長 鴨田宗一氏、消防長に就任
昭和３０年　３月	消防本部庁舎を宮町二丁目137番地に竣工
昭和３１年　３月	玉井分所(現在の玉井分署)を開所
昭和３３年　５月	熊谷市長に栗原正一氏就任
昭和３６年　８月	南分所(現在の荒川分団車庫)を開所
昭和３７年　５月	熊谷市長に黒田海之助氏就任
昭和４２年１２月	妻沼町消防本部、消防署を設置
昭和４７年　４月	熊谷市、妻沼町、大里村、江南村の1市1町2村により 熊谷地区消防組合を設立発足し、管理者に熊谷市長 黒田海之助氏就任 署所　1本部　1署　1分署　2出張所 車両　普通消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車 5台、屈折はしご車1台、救急車3台、指令車1台、 広報車1台、作業車1台、救助艇1艇 職員　113名(定員151名)
昭和４７年　６月	職員を126名に増員
昭和４７年１１月	妻沼分署を妻沼消防署に昇格
昭和４７年１２月	消防本部に火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知 させるため、無線付指令車を配置
昭和４８年　１月	職員を130名に増員 大里消防団北分団車庫竣工、同分団に消防車を配置
昭和４８年　２月	南部地域の消防体制完備のため、大里出張所、江南出張所 を開所、両出張所に水槽付消防ポンプ自動車1台を配置、 職員各15名 妻沼消防団男沼分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４８年　３月	熊谷消防団大幡分団車庫竣工 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４８年　４月	職員を133名に増員
昭和４８年　５月	職員を138名に増員
昭和４８年　８月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用 として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和４８年１２月	熊谷消防団石原分団車庫竣工
昭和４９年　３月	職員を150名に増員

	熊谷消防団久下分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため熊谷消防署に化学車を配置
	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４９年　５月	消防本部、消防署の組織改革を行い、責任体制を明確化し、本部に総務課3係、予防課2係、消防署に副署長を置き、警防係制に改革
昭和４９年１１月	大型地震防災計画の一環として、熊谷消防署及び各出張所(荒川、玉井、大里、江南)に小型動力ポンプ各１台を配置
	熊谷消防団成田分団及び江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和４９年１２月	高層建築物災害に対処するため、熊谷消防署に35m級はしご付消防車を配置
	増加する救急業務の万全を期するため、熊谷消防署に救急車(3B型)を配置
	職員定数を166名に改正
昭和５０年　２月	江南消防団南分団車庫竣工
昭和５０年　３月	熊谷消防団成田分団車庫竣工
昭和５０年　４月	消防長吉野利男氏　埼玉県消防長会会長に就任
昭和５０年　６月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和５０年１０月	妻沼消防署に救急車(2B型)を配置
昭和５０年１１月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置(埼玉県農業共済連　寄贈)
	妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工
昭和５０年１２月	火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため、妻沼消防署に無線付指令車を配置
昭和５１年　１月	熊谷消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
昭和５１年　３月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	交通事故、労働災害、中高層建築物等に伴う複雑多様化による各種災害に万全を期するため、熊谷消防署に消防ポンプ付救助工作車を配置
昭和５１年　７月	職員を151名に増員
昭和５１年　９月	熊谷消防署に火災問合せ専門着信電話装置(3回線)を設置
昭和５１年１０月	消防本部に防災無線電話を設置

昭和５２年　２月	大里消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５２年　３月	熊谷消防団別府分団車庫竣工
	建築物の中高層化によるビル火災や爆発事故等複雑多様化による災害からの人命救助等に対処するため、庁舎予定地に訓練塔(3塔)を設置
昭和５２年　５月	火災問合せ専門着信電話装置(2回線)増設
昭和５２年　８月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として熊谷消防署にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和５２年１２月	大型地震防災計画の一環として、妻沼消防署に小型動力ポンプを配置
昭和５３年　２月	消防本部に広報車(普通車)を配置
	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５３年　３月	熊谷消防団星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	大里消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５３年　４月	職員を153名に増員
昭和５３年　７月	熊谷消防団上石分団車庫竣工
昭和５４年　１月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５４年　２月	熊谷消防署玉井出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和５４年　５月	火災問合せ専用着信電話装置(5回線)を増設
昭和５４年　８月	熊谷消防団三尻分団車庫竣工
昭和５４年１０月	熊谷消防団筑波分団車庫竣工
昭和５４年１２月	市街地特有の密集建物火災に対処するために、動く貯水槽として、また、大震災時における住民への飲料給水車として熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(7,300ℓ)を配置
昭和５５年　１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和５５年　３月	熊谷消防団大幡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団太井分団車庫竣工
	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	庁舎予定地に高圧ガス容器貯蔵庫を設置
昭和５５年　５月	職員を159名に増員
昭和５５年　７月	消防本部に作業車(車両修理用工具一式積載)を配置
昭和５５年　８月	熊谷消防団団本部分団にワゴン型普通車を配置
昭和５５年１０月	熊谷市建築課に新庁舎建設設計業務を委託
昭和５６年　１月	熊谷消防団各分団に消火及び人命救助活動に使用するため、空気呼吸器8型を配置

昭和５６年　２月　　熊谷消防署の救急車(2B型)を更新

昭和５６年　３月　　庁舎建設予定地に書類倉庫2棟を建設

熊谷消防団大麻生分団の普通消防ポンプ自動車を更新

熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新

熊谷消防団中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和５７年　３月　　熊谷消防署荒川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新

熊谷消防団奈良分団車庫竣工

昭和５７年　４月　　職員を164名に増員

昭和５７年　５月　　熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長増田敏男氏就任

昭和５７年　８月　　熊谷地区消防組合庁舎建設着工

昭和５７年１１月　　江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和５７年１２月　　職員定数を188名に改正

昭和５８年　２月　　熊谷消防署に救急車(2B型)を配置

昭和５８年　３月　　熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和５８年　４月　　職員を172名に増員

昭和５８年　６月　　熊谷地区消防組合庁舎竣工

昭和５８年　８月　　熊谷地区消防組合新庁舎業務開始

消防本部、消防署の組織改革を行い、本部に総務課2係、予防課2係、警防課3係を置き、旧本部庁舎を熊谷消防署中央分署として開署

昭和５８年　９月　　通信指令室に消防救急指令装置B型を配置

119番回線　　容量48回線、実装8回線

指令回線　　容量48回線、実装6回線

無線設備　　基地局4　市町村波　150.31MHZ

県内波　148.29MHZ

全国波　150.73MHZ

救急(復信)波　147.50MHZ

143.50MHZ

総合表示盤　　ワンタッチ回路　100か所

電子式交換機　局線容量　24回線、実装7回線

内線容量　96回線、実装43回線

通信指令室に地図検索装置を配置

熊谷消防署及び大里出張所に救助用ボートを配置

昭和５８年１１月　　妻沼消防団長井分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和５９年　２月　　熊谷消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和５９年　３月　　熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を配置

昭和５９年　３月	熊谷消防団中条分団車庫及び佐谷田分団車庫竣工
昭和５９年　４月	職員を177名に増員
昭和５９年　６月	江南出張所に救助用ボートを配置
昭和５９年　７月	荒川出張所に折たたみ式アルミボート(船外機付)を配置 熊谷消防署の査察車(軽四輪)2台を更新
昭和５９年１０月	熊谷消防署に広報装置付四輪駆動車を配置(ホテルサンルート熊谷　寄贈) 熊谷消防署に普通消防ポンプ自動車を配置 江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署にボートトレーラを配置
昭和６０年　３月	熊谷消防団荒川分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の救急車(2B型)を更新 妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団車庫竣工
昭和６０年　５月	熊谷消防署に広報装置付普通車を配置(株式会社八木橋　寄贈)
昭和６０年　７月	熊谷消防署大里出張所及び江南出張所に査察車(軽四輪)を配置
昭和６０年１１月	組合構成市町村の江南村、町制を施行
昭和６０年１２月	熊谷消防署にドクターズカーを配置(日本赤十字社埼玉県支部　無償譲渡)
昭和６１年　３月	熊谷消防署中央分署の救急車(2B型)を更新 熊谷消防署大里出張所及び江南出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 妻沼消防団男沼分団第1部及び秦分団の普通消防ポンプ自動車を更新 江南消防団北分団車庫竣工
昭和６１年　７月	職員を178名に増員
昭和６１年　８月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長小林一夫氏就任
昭和６１年１０月	熊谷消防団上石分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和６２年　４月	職員を179名に増員
昭和６２年　８月	熊谷消防署玉井出張所及び荒川出張所の査察車(軽四輪)を更新
昭和６２年１０月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和６３年　３月	熊谷消防署江南出張所及び大里出張所に救急車(2B型)を配置(江南救急車シャシー日本損害保険協会　寄贈)

昭和６３年　４月	機構改革により中央分署を中央消防署に、各出張所（荒川、玉井、江南、大里）を分署に改変
昭和６３年　８月	消防本部及び熊谷消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
昭和６３年１０月	熊谷消防団奈良、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　元年　１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　元年　２月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成　元年　３月	妻沼消防署の救急車を更新 妻沼消防団太田分団車庫竣工
平成　元年　４月	熊谷地区消防組合章を制定
平成　元年　７月	消防本部、中央及び妻沼消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
平成　元年　８月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成　元年１０月	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　２年　２月	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成　２年　３月	熊谷消防団団本部分団待機室竣工 妻沼消防団長井分団車庫及び男沼分団車庫竣工 江南消防団南分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　２年　６月	中央消防署の指令車を更新
平成　２年　８月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
平成　２年１０月	妻沼消防団妻沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　２年１１月	妻沼消防団秦分団車庫竣工
平成　３年　２月	妻沼消防署庁舎竣工
平成　３年　３月	妻沼消防団妻沼分団第2部車庫竣工 妻沼消防団男沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署玉井分署庁舎竣工
平成　３年　４月	熊谷消防署玉井分署に救急車(2B型)を配置 職員を186名に増員 職員定数を214名に改正
平成　４年　２月	熊谷消防団吉岡分団車庫竣工
平成　４年　３月	熊谷消防団成田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　４年　４月	職員を196名に増員
平成　４年１０月	熊谷消防署のスノーケル車を35mのはしご付消防車に更新し、熊谷消防署玉井分署に配置
平成　４年１２月	熊谷消防署玉井分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新

平成　５年　１月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　５年　４月	職員を203名に増員
平成　５年　８月	妻沼消防署の指令車を更新
平成　５年　９月	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　５年１１月	熊谷消防署玉井分署に普通消防ポンプ自動車を配置
平成　６年　１月	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防署の化学車を更新し、玉井分署に配置
平成　６年　２月	熊谷消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新
	(三国コカ・コーラボトリング株式会社　寄贈)
平成　６年　４月	職員を212名に増員
	職員定数を247名に改正
平成　６年　８月	熊谷消防署の指令車を更新
平成　６年　９月	熊谷消防署に赤バイ2台を配置(江田組株式会社　寄贈)
平成　６年１０月	中央消防署の救急車を高規格救急車に更新
平成　６年１１月	中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成　６年１２月	中央消防署のはしご付消防自動車(35m)及び普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成　７年　１月	熊谷消防団大幡分団及び星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	大里消防団中央分団及び南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　７年　４月	職員を222名に増員
平成　７年　６月	消防本部の査察車(軽四輪)3台、熊谷消防署の広報車及び妻沼消防署の救助用ボートを更新
平成　７年　７月	消防本部の装備車を更新
平成　７年１１月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成　８年　２月	熊谷消防署のドクターズカー及び中央消防署の救急車(2B型)を更新
平成　８年　３月	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	大里消防団　竿頭綬を受章
平成　８年　４月	本部に通信指令課を設置
	職員を233名に増員
平成　８年　９月	熊谷消防署の広報車1台、熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の査察車各1台を更新
平成　８年１０月	消防職員委員会を設置

平成　８年１０月　　アポロキャップ型略帽を採用

平成　９年　１月　　熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成　９年　２月　　熊谷消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新

熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新

熊谷消防署玉井分署に救助工作車を配置

平成　９年　３月　　大里消防団北分団車庫竣工

通信指令課に消防緊急通信指令施設Ⅱ型を配置

119番回線　　容量50回線、実装21回線

指令回線　　容量40回線、実装7回線

無線設備　　基地局1局(12装置)

市町村波　　150.31MHZ

県内波　　148.29MHZ

全国波①　　150.73MHZ

〃　②　　148.75MHZ

〃　③　　154.15MHZ

救急(復信)波　　147.50MHZ

143.50MHZ

デジタル交換機　局線容量16回線、実装 9回線

内線容量72回線、実装68回線

平成　９年　４月　　職員を244名に増員

平成１０年　２月　　妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工

熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成１０年　３月　　妻沼消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新

平成１０年　４月　　携帯電話からの119番通報受信転送システム開始

平成１０年　９月　　熊谷消防署玉井分署及び中央消防署荒川分署の査察車各1台を更新

平成１１年　１月　　熊谷消防団中央分団及び江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成１１年　２月　　妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新

平成１１年　３月　　江南消防団　竿頭綬を受章

平成１１年　８月　　熊谷消防署の中型輸送車を更新

平成１１年１０月　　消防本部に8人乗りワゴン車を配置(故廣田雪枝氏　寄贈)

平成１２年　２月　　熊谷消防署玉井分署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新

熊谷消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新

平成１２年　５月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団荒川分団、妻沼消防団長井分団及び江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１２年　８月	消防本部の査察車を更新
平成１２年１０月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
	中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成１３年　４月	職員を245名に増員
平成１３年　６月	熊谷消防団上石分団、妻沼消防団妻沼分団第１部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１３年１０月	熊谷地区消防音楽隊発足
平成１３年１１月	中央消防署指令車を更新
平成１４年　４月	組合構成市町村の大里村、町制を施行
平成１４年　８月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長富岡清氏就任
平成１４年１０月	中央消防署の高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新
平成１５年　１月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１５年　２月	妻沼消防団秦分団及び男沼分団第1部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１５年　７月	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成１５年１０月	熊谷消防団奈良分団、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１５年１１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新
平成１６年１０月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成１７年　３月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１７年　４月	熊谷消防署に指揮隊を設置
平成１７年　９月	江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１７年１０月	組合構成市町の熊谷市、大里町、妻沼町が合併(廃置分合)により新熊谷市誕生
	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成１８年１０月	警防課に指揮隊車を配置
平成１８年１１月	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成１９年　２月	組合構成市町(熊谷市、江南町)の廃置分合により熊谷地区消防組合が解散
	熊谷市消防本部並びに熊谷消防署、熊谷消防署玉井分署、熊谷消防署江南分署、中央消防署、中央消防署荒川分署、

平成１９年　２月　　中央消防署大里分署及び妻沼消防署を設置
職員定数247名
消防長に中島裕一氏就任
熊谷消防団及び江南消防団を統合し、熊谷市消防団を設置
団員定数513名

平成２０年　１月　　中央消防署大里分署、妻沼消防署の高規格救急自動車を更新
熊谷市消防団成田分団、佐谷田分団、弥藤吾分団、小島分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成２０年　２月　　熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新

平成２０年　３月　　予防課、警防課の査察車を更新

平成２０年　４月　　職員を246名に増員
団員定数を528名に改正
女性消防団員を17名採用

平成２０年　９月　　水難救助に対応するため妻沼消防署に水上バイクを配置

平成２０年１０月　　中央消防署の救急自動車(2B型)を高規格救急自動車に更新
熊谷市消防団団本部女性小隊車両(可搬ポンプ付)を配置

平成２０年１２月　　熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新

平成２１年　１月　　熊谷消防署江南分署の高規格救急自動車を更新
第1回消防音楽隊定期演奏会を開催

平成２１年　３月　　消防本部の指令車を更新
警防課の査察車を更新し、装備車を多目的車として更新
熊谷市消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
指令課に高機能消防指令センターを更新整備
主な装置
・メール119番、FAX119番、駆け込み119番受付装置
・発信地表示システム　　・災害情報表示装置
・消防情報支援システム　・車両動態位置管理装置
・自動出動指定装置　　・Eメール災害情報配信システム
・EPVシステム

平成２１年１０月　　中央消防署及び妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新

平成２１年１２月　　中央消防署の高規格救急自動車を更新
中央消防署新庁舎の基本設計を実施

平成２２年　１月　　中央消防署新庁舎建設予定地の地質調査を実施

平成２２年　２月　　熊谷市消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を普通消防ポンプ自動車に更新
熊谷市消防団大里中央分団及び大里南分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成２２年　２月	消防総務課に研修車（天然ガス車）を配置
	第2回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成２２年　３月	消防本部の空気ボンベ充填庫整備
平成２２年　４月	職員を247名に増員
平成２３年　２月	第3回消防音楽隊定期演奏会を開催
	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成２３年　３月	熊谷消防署玉井分署のはしご付消防自動車を先端屈折式はしご車（30m）に更新
	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
	熊谷市消防団大幡分団、星宮分団、太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
	熊谷消防署に支援車を配置（総務省消防庁　貸与）
	東日本大震災に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成２３年１０月	行田市と消防本部指令センターで消防通信指令事務の共同運用を開始
平成２３年１２月	熊谷市消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２４年　２月	熊谷消防署の指令車を更新
	第4回消防音楽隊定期演奏会（音楽隊発足10周年記念）を開催
	熊谷消防署玉井分署の救助工作車を更新
平成２４年　３月	熊谷市消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２４年１１月	消防本部に救急指導車を配置（故野坂礼子氏　寄贈）
平成２５年　１月	熊谷市消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２５年　２月	第5回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成２５年　３月	中央消防署開署
平成２５年　４月	中央消防署荒川分署を廃止し中央消防署に統合
	熊谷消防署玉井分署に中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を配置替
	中央消防署に熊谷消防署玉井分署の救助工作車を配置替
平成２５年１２月	熊谷消防署玉井分署の化学車を更新
	熊谷市消防団中央分団及び江南中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成２６年　２月	第6回消防音楽隊定期演奏会を開催
	妻沼消防署の指令車を更新
平成２６年　３月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の査察車を更新
平成２６年１２月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新

平成２７年　１月　妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新

平成２７年　２月　第7回消防音楽隊定期演奏会を開催

平成２７年　３月　熊谷消防署玉井分署及び中央消防署の査察車を更新

指令センターに消防救急デジタル無線を整備

主な装置

・空中線柱　・空中線共用器

・受令機　・基地局無線設備

・車載無線機　・携帯無線機

・可搬型無線装置

平成２７年　４月　警防課から熊谷消防署に指揮係を配置替

平成２７年　９月　関東・東北豪雨に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動

平成２７年１０月　予防課の査察車を更新（熊谷市防火安全協会　寄贈）

平成２７年１１月　中央消防署大里分署及び妻沼消防署の高規格救急自動車を更新

平成２７年１２月　熊谷消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新

消防音楽隊の制服を更新

熊谷市消防団に消防デジタル無線受令機及びデジタル式トランシーバーを整備

平成２８年　２月　第8回消防音楽隊定期演奏会（熊谷市誕生10周年記念）を開催

平成２９年　２月　第9回消防音楽隊定期演奏会を開催

熊谷消防署江南分署及び中央消防署の高規格救急車を更新

平成２９年　３月　熊谷消防署の査察車を更新

中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新

平成２９年　４月　再任用（短時間）職員の採用を開始

熊谷市消防団後方支援隊発足

平成２９年　８月　消防総務課の査察車を更新

平成３０年　２月　熊谷市消防団荒川分団車庫竣工

中央消防署の高規格救急車を更新

第10回消防音楽隊定期演奏会を開催

平成３０年　３月　熊谷消防署江南分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新

平成３１年　１月　中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新

平成３１年　２月　熊谷消防署の高規格救急車を更新

第11回消防音楽隊定期演奏会を開催

平成３１年　３月　高機能消防指令センターを更新整備

Net119緊急通報システム運用開始

平成３１年　４月　熊谷消防署の救助工作車と中央消防署の救助工作車を配置替

令和元年	７月	高度救助隊発足
令和元年	１１月	消防総務課の研修車（天然ガス車）を廃車
令和２年	１月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
令和２年	２月	第12回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和２年	３月	熊谷市消防団団本部女性小隊の広報車を警防課へ配置替 熊谷市消防団団本部女性小隊の広報車を更新 熊谷市消防団荒川分団、長井分団及び江南北分団の普通ポンプ自動車を更新 警防課の連絡車を消防総務課へ配置替
令和２年	４月	熊谷市会計年度任用職員の採用を開始
令和２年	１０月	熊谷市消防団上石分団、妻沼分団及び太田分団の普通ポンプ自動車を更新
令和２年	１１月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
令和２年	１２月	中央消防署のはしご付き消防自動車を屈折はしご付消防自動車（25m級）に更新し、玉井分署の先端屈折式はしご車と配置替 正午のサイレン吹鳴終了
令和３年	１１月	熊谷市長に小林哲也氏就任
令和４年	２月	第14回消防音楽隊定期演奏会を無観客で開催（第13回はCOVID-19感染拡大防止のため中止）
令和４年	３月	中央消防署に支援車Ⅱ型を配置 中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を玉井分署に配置替 熊谷消防署の資機材運搬車を更新
令和４年	１０月	熊谷市消防団三尻分団、男沼分団及び秦分団の普通ポンプ自動車を更新
令和５年	２月	第15回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和５年	３月	熊谷消防署に高規格救急車を配置 熊谷消防署の指揮隊車を更新 中央消防署の救助工作車を更新 熊谷消防署玉井分署の高規格救急車を更新
令和５年	４月	職員定数を275名に改正
令和５年	９月	火災予防手続の電子申請受付を開始
令和５年	９月	熊谷市消防団奈良分団、別府分団、大里北分団の普通ポンプ自動車を更新
令和５年	１１月	無人航空機及び映像伝送システムを運用開始
令和５年	１２月	中央消防署大里分署の高規格救急車を更新

令和５年	１２月	妻沼消防署の高規格救急車を更新
令和６年	２月	第16回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和６年	４月	日勤救急隊発足
令和６年	５月	熊谷市消防団団本部小隊・中央分団車庫竣工
令和６年	１０月	熊谷市消防団石原分団、妻沼分団、吉岡分団の普通ポンプ自動車を更新
令和６年	１２月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署江南分署の高規格救急車を更新 中央消防署の高規格救急車を更新
令和７年	２月	第17回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和７年	２月	岩手県大船渡市林野火災に緊急消防援助隊埼玉県大隊として出動
令和７年	３月	高機能指令センターを更新整備
令和７年	３月	消防本部庁舎の大規模修繕工事完了
令和７年	９月	消防音楽隊の制服を更新
令和７年	１２月	予防課の査察車を更新
令和８年	２月	第18回消防音楽隊定期演奏会（熊谷市誕生20周年記念）を開催
令和８年	２月	中央消防署の高規格救急自動車を更新
令和８年	３月	妻沼消防署の水上バイクを更新
令和８年	３月	妻沼消防署2階シャワー室・女性仮眠室の改修工事完了
令和８年	３月	熊谷市消防団江南南分団の普通ポンプ自動車を更新 （総務省消防庁　貸与）